

# 清心語文

## 第 22 号

藤原教長の書写意識

—— 仮名の書写における親本への姿勢 ——

家人 博徳

一

浜松歌国作『忠孝貞婦伝』『駿河舞』考

藤川 玲満

一五

村上春樹『海辺のカフカ』における〈暴力〉の連鎖

—— フランツ・カフカ『流刑地にて』、アイヒマンのユダヤ人大量虐殺、  
田村カフカに父が与えた傷を手掛かりとして ——

大岡 愛梨沙

三一

政治社会状況と現代文学 —— 新型コロナ禍のなかで

綾目 広治

四七

彙報

図書館における障がい者サービスを考える

—— 公共図書館の視覚障がい者サービスを中心として ——

近藤 友子

42

福山市民の言語使用と言語意識に関する調査報告

尾崎 喜光・灰谷 謙二

21

低文体における共通語化の現象

—— 「早（はや）っ！」「っすよ」「いまいち」「めっちゃ」の普及 ——

尾崎 喜光

1